



未来共生デザインセンター 2025年度末 公開成果報告会

2026年
2月 27日 金

13:30 ~ 17:10

三田キャンパス 南館 地下4階
ディスタンスラーニング室

開会の挨拶：梅田 聡（社会学研究科 委員長）

第1部 人間知性クラスター

（座長：峯島 宏次）

13:35~14:35

- 『自律神経反応と内受容感覚から見る主観的ストレス』 田仲 祐登（本センター）
- 『ユーモアの生成：大規模言語モデルによる検討』 柴田 みどり（本センター）
- 『来るべき者たちとの共生可能性について』 柏端 達也（文学部）
— その条件と形態をめぐる短い思弁 —

第2部 環境適応性クラスター

（座長：皆川 泰代）

14:50~15:50

- 『説得AI研究始めました』 平石 界（文学部）
— 定量的な個別的アプローチ研究のスケールアップを目指して —
- 『工学系ツールを駆使したクロスモーダル研究』 三木 則尚（理工学部）
- 『対人相互作用における情報統合プロセスへの
ロボットを用いた操作的アプローチ』 森本 智志（本センター）

第3部 価値創造性クラスター

（座長：川畑 秀明）

16:05~17:05

- 『非自発的精神科入院をめぐる親の経験とケアの語り』 櫛原 克哉（東京通信大学）
— 日本における家族・ケア・強制の考察 —
- 『絡み合う人と自然の関係史に挑む』 山口 徹（文学部）
— ポリネシアのプカプカ環礁を事例にして —
- 『社会・文化へのエンゲージメントがもたらす高齢者のウェルビーイング』 川畑 秀明（文学部）
— 文化と健康をつなぐ開発的アプローチ —

閉会の挨拶：皆川 泰代（未来共生デザインセンター センター長）